東京都立葛西南高等学校　令和4年度　政治経済　年間授業計画

教科:（　公民　）科目:（　政治・経済　）単位数:（　２　）単位　対象:（　第3学年1組～6組　）

教科担当者:（　1組～6組:氏名　老田　望　）

使用教科書:「高等学校新政治・経済」(清水書院)

使用教材:　教科書準拠「高等学校新政治・経済ワークシート」(清水書院)

	指導内容 【年間授業計画】	科目　政治・経済の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	第２章　日本国憲法と基本的人権 ８　日本国憲法の基本原理 国民主権	○日本国憲法において，国民主権・象徴天皇制はどのように規定されているのか，理解させる。 ○日本国憲法が規定する平和主義の理念はどのようなものであるか，理解させる。	・日本政治への関心が高まっている。 ・日本政治の課題を多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	2
	８　日本国憲法の基本原理 象徴天皇制			2
	８　日本国憲法の基本原理 平和主義			2
5月	９自由権的基本権（１） 公共の福祉・人身の自由	○「公共の福祉」の意味を理解させる。 ○精神の自由における内心の自由と表現の自由との関係を理解させる。 ○経済活動の自由とその制限について理解させる。 ○法の下の平等の意味を理解させる。 ○現代における、諸課題としての差別の問題を理解させる。	・日本政治への関心が高まっている。 ・日本政治の課題を多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	2
	10自由権的基本権（２） 精神の自由			2
	10自由権的基本権（２） 経済の自由			2
	11法の下の平等 法の下の平等・現代社会と差別問題			2
6月	12社会権と参政権・国務請求権 生存権	○20世紀的権利である、社会権の歴史と意味を理解させる。 ○社会権の中心である生存権を理解させる。 ○社会権としての教育を受ける権利ならびに労働基本権を理解させる。 ○労働基本権と現代における労働問題を理解させる。 ○日本国憲法に明記された基本的人権のほか、歴史の中で生まれた新しい権利について理解させる。	・日本政治への関心が高まっている。 ・日本政治の課題を多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	2
	12社会権と参政権・国務請求権 教育を受ける権利			2
	12社会権と参政権・国務請求権 労働基本権・参政権・国務請求権			2
	13人権の新しい展開 知る権利と情報の公開・自己決定権			2

	指導内容 【年間授業計画】	科目　政治・経済の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
7月	第３章　日本の平和主義と安全保障 15　日本の平和主義と自衛隊 憲法第９条	○日本国憲法第９条と自衛隊との関係はどのように議論されてきたのか，考察させる。 ○日本国憲法が内閣総理大臣その他の国務大臣は文民でなければならないと規定しているのはなぜか，考察させる。 ○冷戦下，自衛隊はどのように増強されてきたか理解させるとともに，非核三原則の意義を考察させる。	・日本政治への関心が高まっている。 ・日本政治の課題を多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	2
	15　日本の平和主義と自衛隊 自衛隊			2
	15　日本の平和主義と自衛隊 文民統制と自衛隊の増強			2
9月	16　日米安保条約と日本の安全保障 日米安保条約の締結と改定	○日米安保条約の改定をめぐって反対運動が広範に展開されたのはなぜか，考察させる。 ○冷戦終了後，日米安保条約の役割が再検討されるようになったのはなぜか，考察させる。 ○国連平和維持活動（ＰＫＯ）等関連法の制定をめぐって，どのような意見対立があったのか，考察させる。 ○国連ＰＫＯ協力法にもとづき自衛隊はどのように国連ＰＫＯに参加してきたか，理解させる。 ○安全保障関連法の制定により集団的自衛権の行使が可能になったことには，どのような意義と課題があるか，考察させる。	・日本政治への関心が高まっている。 ・日本政治の課題を多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	2
	16　日米安保条約と日本の安全保障 米安保条約の再定義と有事法制			2
	17　現代日本の安全保障 国連ＰＫＯ協力法の成立			2
	17　現代日本の安全保障 自衛隊の海外派遣　安全保障関連法			2
10月	第４章　日本の政治機構 22　地方自治 地方自治の本旨	○日本国憲法が規定する「地方自治の本旨」の意味について，理解させる。 ○地方公共団体の組織と権限について，その概略を理解させる。 ○地方自治に直接民主制のしくみが取り入れられているのはなぜか，考察させる。	・日本政治への関心が高まっている。 ・日本政治の課題を多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	2
	22　地方自治 組織と権限 直接請求権と住民投票			2
	25　政党政治と世論 政党の発達と政党政治	○現代の議会政治が政党を中心に運営されているのはなぜか，考察させる。 ○第二次世界大戦後の日本の政党政治について，その概略を理解させる。 ○民主政治における世論の形成と政治への影響を考察させる。		2
	25　政党政治と世論 日本の政党政治 民主政治と世論			2

	指導内容 【年間授業計画】	科目　政治・経済の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
11月	26　選挙制度と民意 民主的な選挙の３原則	○民主的な選挙の原則にはどのようなものがあるか，理解させる。 ○様々な選挙制度の特徴について，民意の集中と反映という観点から理解させる。 ○現在の日本の国政選挙の制度について理解させる。 ○日本の選挙制度の変遷について概略を理解させるとともに，日本の選挙制度の抱える問題点について考察させる。	・日本政治への関心が高まっている。 ・日本政治の課題を多面的多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	2
	26　選挙制度と民意 日本の選挙制度 衆議院議員選挙			2
	26　選挙制度と民意 日本の選挙制度 参議院議員選挙			2
12月	第１章　現代経済の特質 38　三つの経済主体と経済循環	○市場経済において，家計・企業・政府はどのような役割を果たしているか，理解させる。 ○競争的市場における需要曲線・供給曲線の形状について，理解させる。 ○価格の自動調節作用とは何か，需給曲線を使って，理解させる。 ○価格の働きが「見えざる手」とたとえられるのはなぜか，考察させる。	・市場経済と価格メカニズムについて理解し、身近な制度について関心が高まっている。	2
	39　価格と市場の役割 価格の自動調節作用			2
1月	40　市場機構の限界 不完全競争市場 市場の失敗	○不完全競争市場の特徴を，完全競争市場との比較を通して，理解させる。 ○「市場の失敗」の原因と政府はどのように対処できるか，考察させる。 ○消費者物価・企業物価とは何か，どのように算出されるのか，理解させる。 ○物価のはげしい変動に対し，政府や中央銀行はどのような政策をとるべきか，考察させる。	・不完全競争市場および物価の変動について理解し、身近な事象として関心が高まっている。	2
	42　物価変動国民生活 デフレとインフレ			2